



# 展示室 利用案内

高山活版社



## INDEX

- ・ 高山活版社について
  - ・ 会社概要
  - ・ 提供価値
- ・ 展示室について
  - ・ 展示室の風景
  - ・ 展示室利用における留意点
  - ・ 展示に協力可能なこと
  - ・ アクセス
  - ・ 展示事例

## 高山活版社について

私たちは、1910年大分の地で創業して以来、  
情報伝達のための印刷物をつくってきました。  
その多くが、速く大量に伝えるための手段として。

時代は移り変わり、その役目を終えようとしている今、  
あらためて問いたい、なぜ印刷するのかについて。

情を報せる。

情の緒をたぐる。

日々の仕事や生活に向き合い、そもそもを考えること。  
そして、想いや心を報せるための道具をつくり続けること。  
それが私たちの使命です。

印刷という文化の火を灯し続けてゆくことを信じて、  
あなたと、一緒に考えていきたいです。

# 会社概要

社名	株式会社 高山活版社
創業	1910年
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役社長 高山英一郎
本社工場	〒870-0943 大分県大分市片島尻込301-1
従業員	9名
事業内容	オフセット印刷／オンデマンド印刷／活版印刷／展示室運営
取引銀行	大分銀行／

高山活版社は  
大分で最も古くて新しい  
文具の印刷会社として

- 一、活版とオフセットなど、新旧の印刷機を共存させ、
- 二、中規模ゆえの、きめ細やかで小回りのきく対応力と、内外の連携による柔軟力で、
- 三、情報のみならず、情緒を感じさせる印刷物を作り、
- 四、大分の地で、印刷という文明から文化への火を灯し続けます。

## 展示室について

社屋設立から、今日まで会議室として利用されてきた71㎡の空間を、2023年09月に高山活版社の新たな取り組みとして、セルフビルドで「展示室」へと生まれ変わりました。

この空間では、自社で制作した製品/作品は元より、「印刷」に関わる、あらゆる物を展示していこうと考えています。

我々に一番身近な存在でもある「印刷物」  
ただ、印刷物を作り上げる制作現場やその過程は意外と遠いところにあるのかもしれない。

高山活版社は工場の中にある、この空間を通じて、印刷物を作る全ての人と、印刷物を利用する全ての人とを、出会い・繋げていきます。

## 展示室の風景



## 展示室の風景

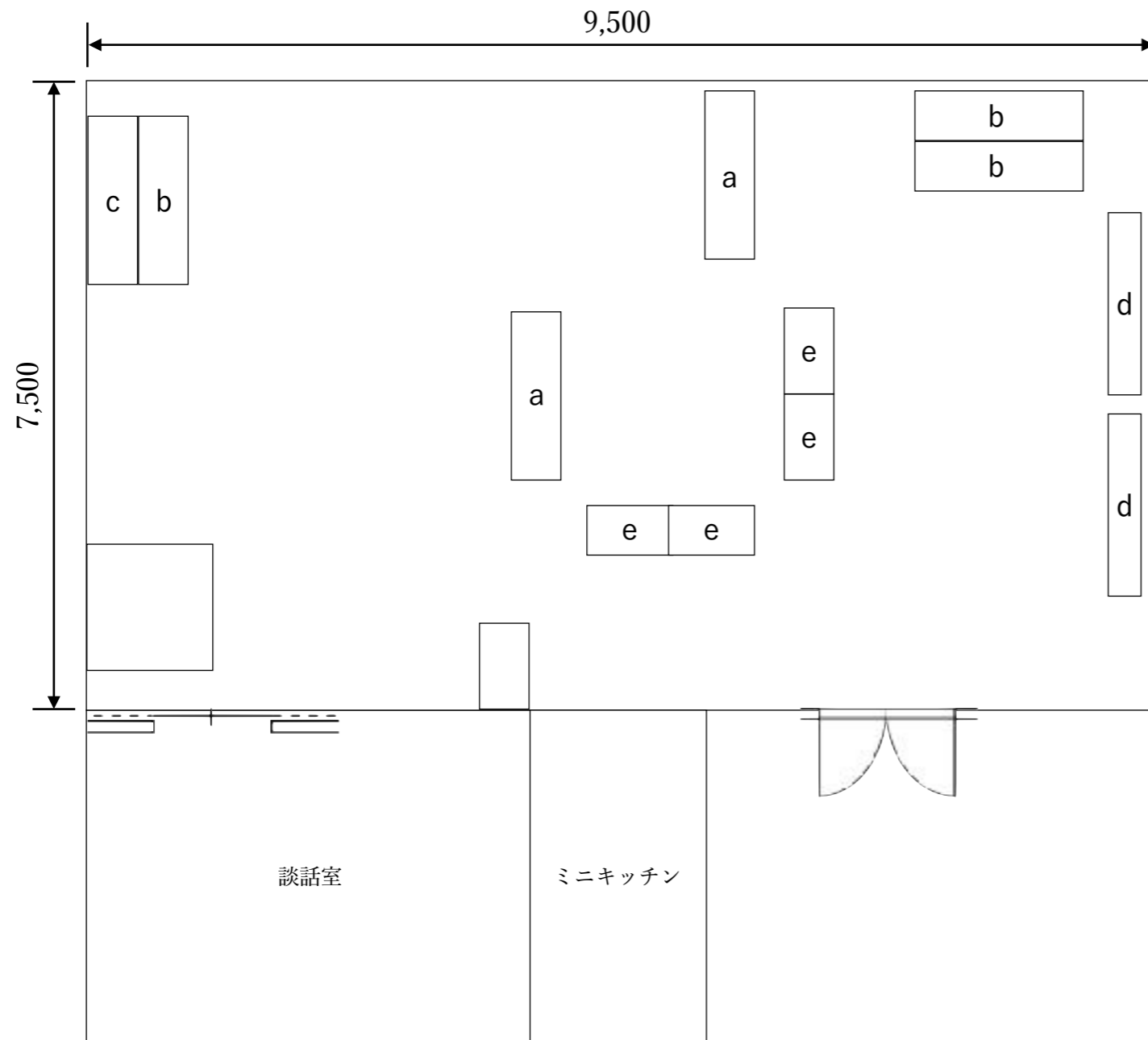




## 展示室の風景



# 展示室の詳細



## スペース概要

面積 : 71.25㎡ (7,500×9,500mm)

天井高 : 約2,760mm (最大高)

設備 : 冷暖房、Wi-Fi、WC、談話室 (ミニキッチン)  
※備品は全て無料でお使いいただけます。

什器 : a (2) w : 1,800mm h : 700mm d : 550mm  
b (3) w : 1,800mm h : 700mm d : 450mm  
c (1) w : 1,800mm h : 800mm d : 450mm  
d (2) w : 1,800mm h : 700mm d : 450mm  
e (4) w : 900mm h : 700mm d : 550mm

# 展示室利用における留意点

## 展示室利用料金

1 Day : ¥ 22, 000 (税込)

1 Week : ¥ 85, 000 (税込)

## 利用可能時間

10:00 - 18:00

※搬入は9:00から可能

## キャンセルポリシー

31日前	7日前	3日前	当日
25%	50%	80%	100%

※キャンセルにつきましては、理由に関係なくキャンセル料が発生いたします。  
急なスケジュールの変更がある場合は事前にご連絡ください。

## 盗難・破損トラブルについて

- ・当事者がお客様、または不明の場合  
→警察への通報や交渉は主催者側で行ってください。  
スペースオーナーとしての証言等、出来る限りのことは協力致します。
- ・当事者が弊社スタッフの場合  
→弊社が一切の責任を持ち、弁償致します。

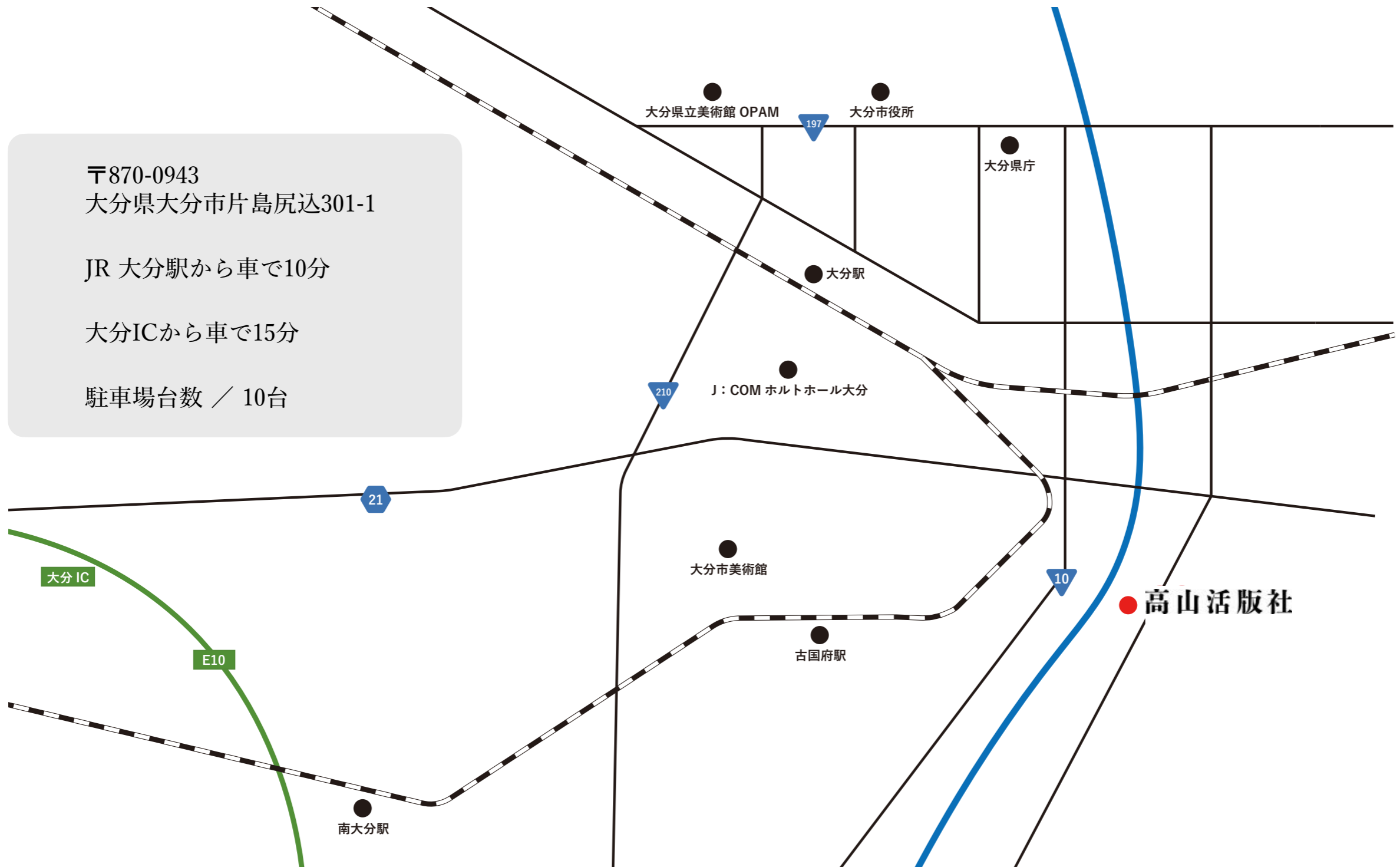
# アクセス

〒870-0943  
大分県大分市片島尻込301-1

JR 大分駅から車で10分

大分ICから車で15分

駐車場台数 / 10台



## 展示事例：高山活版社オープンハウス（2023/09/02～09/28）

### 社をひらく、印刷をひらく

高山活版社は1910年の創業以来、大分の地で印刷を生業としてきました。

20世紀の発展とともに大きくなり速くなった印刷は、今世紀に入り目覚ましい発展を遂げる情報技術によって、小さく遅いものになりつつあります。

今の時代になぜ印刷をするのか、まだ答えは出ていません。  
ならば、まずは私たちの考えていることを知ってもらいたいと思いました。

日本の「印刷の父」である本木昌造の命月である九月、高山活版社を会社を開き、印刷について考える一ヶ月のオープンハウスを開催します。

これからの印刷について、あなたと一緒に考えていきたいです。



# 申し込み

お申し込みはこちらからお願いします

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfQfHHiSrA7rejlbbG0iDNi72n2luCA7TsfN1owS1FzTlo2g/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfQfHHiSrA7rejlbbG0iDNi72n2luCA7TsfN1owS1FzTlo2g/viewform?usp=sf_link)



# 高山活版社

ありがとうございました。